

令和8年度 第2学年 音楽科 年間指導計画 予定年間授業時数： 37 時間
使用教科書：教育芸術社
使用副教材：コーラスフェスティバル（正進社）
教科の学習目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声を発声する歌唱学習</li> <li>・リコーダーの正しい指遣いを理解すること、代表的な和楽器を理解する器楽学習</li> <li>・様々な演奏形態があることを理解する鑑賞学習</li> </ul>

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	合唱曲 明日へ （並行して器楽への取り組み） 器楽（リコーダー）の取り組み 鑑賞 バッハの小フーガト短調 鑑賞 ベートーヴェン交響曲五番	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽には様々な演奏形態があり、それぞれに多様であることを知る</li> <li>・パイプオルガン、オーケストラ演奏の特色を知る</li> </ul>
2	合唱曲 明日へ （並行して器楽への取り組み） 器楽（リコーダー）の取り組み ふるさと 生徒発表会への取り組み 鑑賞 オペラ「アイダ」 鑑賞 歌舞伎「勸進帳」 鑑賞 文楽（人形浄瑠璃）新版 歌祭文から野崎村の段 箏、尺八、和太鼓を中心とした 和楽器の考察 （3学期も継続して取り組む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変声期後の女声、男声、地声、頭声などの種類の特色を理解する</li> <li>・曲種や曲想に合った発声、器楽演奏の仕方を工夫する</li> <li>・合唱、器楽とも強弱、表現標語を意識して表現する</li> <li>・歌声の違いと声域の種類を理解し、発声の方法を身につける</li> <li>・日本の伝統芸能と西洋の総合芸術について理解を深める</li> <li>・歌舞伎、文楽の舞台や表現の工夫等について理解する</li> <li>・1年次より日本の伝統楽器についてより理解を深める</li> <li>・1年次より楽器の多様さや音色についての理解を深める</li> <li>・アジア、諸外国の特徴的な楽器について考察する</li> </ul>
3	在校生としての 卒業式の国歌式歌の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの合唱の響きの違いや良さを感じ取る</li> <li>・自分のクラスだけでなく、他クラス、他学年の合唱への姿勢や良さを感じ取る</li> <li>・1年間の合唱活動のまとめとして、正しい発声法を再確認し深化する</li> <li>・1年間の器楽活動のまとめとして、正しい指遣いを再確認し深化する</li> </ul>

評価の観点・方法 以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動を評価します。		
観点（全体に対する割合）	観点の趣旨	評価資料
観点1 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律や歌詞の強弱関係を理解して、表現することができる</li> <li>・他の声部との調和を生かしながら、合唱、器楽演奏ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱テスト</li> <li>・リコーダーテスト</li> <li>・定期テスト</li> <li>・授業態度</li> </ul>
観点2 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の意味を感じ、強弱を感じ多様な合唱を感じとることができる</li> <li>・標記されている強弱、表現記号を理解して表現を工夫する</li> <li>・各楽器の音色や演奏効果など、それぞれの楽器の特徴を感じ取ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱テスト</li> <li>・リコーダーテスト</li> <li>・定期テスト</li> <li>・授業態度</li> </ul>
観点3 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱も器楽も強弱の変化をつけた表現活動に関心を持って取り組む</li> <li>・器楽の演奏と練習に興味関心を持って取り組む</li> <li>・様々な演奏形態の音楽を鑑賞し、それぞれの音楽へ関心を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱テスト</li> <li>・リコーダーテスト</li> <li>・定期テスト</li> <li>・授業態度</li> </ul>